本社の戰況報道

今や我軍は既に支那の國境に侵入し其攻擊の點も一ならず之に應ずる本社報道員の部署も隨て變更せざるを得ず由て石川信氏を廣嶋に高見龜氏を朝鮮京城に轉じ更に堀井卯之助氏を特派して第二軍に隨行せしめ又宮本芳之助氏を軍艦に乘組ましめ以て今後の戰況を報道するに遺漏なきを期す、今本社特派員の所在地と擔任事項を列記すれば左の如し

大本營所在地廣嶋
大本營所在地廣嶋
朝鮮京城
第一軍隨行
第二軍隨行
軍艦乘組

石川信
足立莊
高見龜
間利子八五郎
堀井卯之助
宮本芳之助

戰況報報隊

淺井忠
淺井魁一

會報擔任
寫眞擔任

時事新報

全國農事大會の決議

本月一日より全國農事大會を府下の彌生館に開き農事振興の方法に關する二十餘條の要目を議定したるは曩に本紙に記載せる所の如し目下我國の百事は何れも戰爭の爲めに多少の影響を蒙り殊に新事業新計畫に屬するもの〻如き直接に金融に緣あると否とを問はず率ね進行を躊躇する中に於て農事大會の擧行は之を稱して其本分を盡すに熱心なるものと云はざるを得ず而して議定の項目二十餘條都て相應の考案にして蓋し農界の時勢に適したるものならんなれども其精神を要するに各府縣に農事團體を組織して之を主動者となし世話役となし以て各種の方法を實施せしむ可しと云ふに外ならず一應何人も想像に浮む所にして從來とても或は計畫せられ或は實施せられたるみともありしが其成績多くは惡はしからずして能く終を完ふしたるもの甚だ鮮し蓋の變遷と共に個人の信用衰へたるよりして様々の團體を結ばんとするにも兎角法律的の仕組を離れず例へば其主任者の行爲を監督するに組合全部の會議を以てするなど其他種々繁雜なる事務に煩はされ無益の金錢を費して俗に謂ふ入費倒れとなるもあり又は政治的有志家の爲めに義援せられて弊害百出すると共に團體の信用を失ひ組合員自から之を蔑視して顧みざるに至るものも少なからず例へば彼の自治制度の如きも立案者の趣向は猶ほ農事會が團體の計畫をなしたると等しく之を以て地方百般の經營に任ぜしむ可き積りに相違なかる可しと雖も事の實際を見るに及んでは人をして失望せしむるもの比々然らざるなし試に各府縣の自治體が一年中に幾回の會議を起したるや、幾千の日子を會議に費したるや、隨て幾千の入費を要したるやを調査して其擧げ得たる事績に對し又各地方に於て實着なる人民が果して自家の自治體に信用を置きつゝあるや否と問はゞ其前途を憂ふる者少なからざる可し是れ曾て から費錢ならざる仔細の在るみとにして農事團體の組織に就ても大に參考となすに足る可し左れば議決事項の實施に付ては別に委員を設くる筈の由なれども若しも徒に計畫を急ぎ輕卒に組織に着手するに於ては農民は曾に利益に浴せざるのみか恰かも一種の租稅を負擔するの憂と爲り實益未だ得ずして怨言先づ發するの慎なしと云ふ可らず我輩は當事者の飽までも愼重ならんを注意する者なり又此種の計畫及び團體の爲す可き業務等に就ては實際地方長官の靈力を肝要とするの常なれども地方長官の習として中央政府の命令に對しては周章奔走を辭せざれども人民に向ては兎角疎緣にして其情實を問はず一片の法文以て萬事を貫かんとして翔て無限の煩累を生ずるみとなきに非ず例へば右大會の議決中にも諸般の公事及び納稅等成る可く組合總代をして之を代辨せしむるの慣例を養成す可し云々とあり是れは農家の繁文に苦むを濟はんが爲めの一案にして案の便否は暫く措き地方官が行政の手心を以て百事簡易を主とし政事を一種の商賣と視做して手間を省き費用を減ずるみとにのみ注意し官民直接に相應して事を謀りたらんには農民の爲めに利するみと必ず大なる可し是等は農會の責任として地方官に向て大に議す可き所のものなり

序に一言す可きは議決中移住に關する方法として殖民事業を保護監督せしむ可き官衙の設立を促すみとゝあり官衙の事は我輩は今茲に言はず之に關しては想ふに我國人を移殖す可き新領地を得るみとなる可く隨て既に從軍せる人夫等は勿論猶ほ續々移住者を要す可ければ農界の先達たる人々は宜しく之を奬勵し新地に永住せしむるの用意大切なる可し農事改良の極意は過剩の人口を移すに在りと云ふ況んや新地の移民は國家の要務なるに於てをや而して人情は常に墳墓の地を去るを好まず先達を煩す所以なり

官報

○勅令

陸大藏省定員臨時增置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽
明治二十七年十二月二日

内閣總理大臣　伯爵伊藤博文
大蔵大臣　渡邊國武

○勅令第百九十八號

大藏省ニ主稅官一人及屬三人ヲ臨時增置スル件

雜報

○京城特報

十一月廿九日午後　特派員　高見龜

井上公使渡韓以來未だ一箇月に過ぎず其間國王に謁見するみと六七回に及びたるが毎に國王に奏して曰く朝鮮國の弊政を改革するは實に至難の事にして所謂る中興の大業に屬す故に之を爲すに方りては先づ大決心なかるべからず若し大決心なくして唯日本政府の好意を無にするも仇なれば兎も角も改革に着手すべしと云ふが如き姑息躊躇の決心なりんか或は中途にして倦厭の情を催ほし若しくは沮喪するみとあるべし果して然るに於ては到底改革の實効を奏するみと難きのみならず寧ろ初めより着手せずして自然の運命に一任するに若くざるを見るに至らん抑も韓政を改革するに方りては天下公衆に發く滿足を與ふるみとなきは勿論却て不平の徒を多からしめ甚しきに至りては現時の東學黨暴徒よ

獨り支那人恥辱極なる所の個其生靈の名一支那人の文字を讀みもなし見すを告知せざ根性は暴みの處々方々は三々五々ベル衝なる今日の午後出席し何か誰一人も知りて喧ぎ〻に振搖れを誰とか爲婦人の是さ

又以て通常殘忍なるとのあり今を會社手代の評判高く學院へ離て有とは唯の一娘に對する の女子なれも宣敕の金那人町に宣部には直接の

り一層強大なる反對者を出すみとなきにしもあらず是れ豫め心に期せざるべからず其他改革に附隨して種々の難問題續出し紛擾に堪へざるみとあらん然るも猶ほ困難と戰ふて飽まで改革を遂行せんとする大決心あるや否や是れ實に祀捷すべきみとにして又最も必要なるみとなり云々と辭を盡くして縷述し其決意を問ふ國王之に答へて曰く中興の業實に至難なるみとは能く之を熟知す假令ひ百難千難に遭遇するも決して之れが爲めに挫折し或は沮喪するみとなく改革を遂行せんと欲す幸に非常なる盡力と助成とを仰ぎ以て素志を貫通せんみとを誓る

法務衙門大臣の辭職

法務衙門大臣洪鐘軒は一昨日辭表を呈出し本日を以て職可せられたりと云ふ

東徒の暴威猶甚

茂州地方に於ける東學黨の暴威は頗る劇しく其數二萬人以上に及び中には後裝銃を有するものもあり且つ大砲をも備へ其守備割合に嚴なるのみならず時としては同地に在る我一小隊の兵に向つて包圍攻擊を加へんとする氣燄さへありて甚だ不穩なる爲め不日龍山及仁川守備隊中より一隊の兵を應援として派遣する筈なりと

東徒の首領を捕ふ

忠清道地方に向ひたる我兵より東徒の首領らしきもの九名を捕へて一昨日京城領事館に護送し來り一應取調べの上昨夜警務廳に引き渡したりと云ふ

黃海道監司斬傷せらる

黃海道海州附近に於ても亦暴徒起り監司鄭顯鼎の邸に亂入し頭部及腰部に斬傷を負はしめ其他頗る暴威を逞して勢猖獗なりと云ふ

又も暴徒煽動者の拘引

前機理宋廷燮なるもの京城の內外に出入し或る筋の管を承けて東學黨を煽動したりとの嫌疑を以て此程警務廳に捕へられ目下監獄署に留置中なり而して不日法務衙門に廻はされ審問せらるゝならんと

金、魚の諸氏公使館に來る

總理大臣金宏集、外務大臣金允植、度支衙門督辦中の三氏は本日午後我公使館に來り改革諸項に付井上公使と熱議する所ありたり

○在米の倭奴を壓にす可し　在米の支那人亦愛國の心燃なり（愛國の心と云ふは當らざるが如し寧ろ夷を憎む野蠻心と云ふ可し）彼等は日本人を憎むみと蛇蝎も雷ならず其憎み嫌ふ心の烈しさは彼の東洋大戰場の中央に今正に青龍刀を振廻し居る支那人にも劣らざる可し殊に支那人の人口數多き紐育及び桑港に於ては事態或は由々敷儀事をも演じ出さんず勢あり夫れのみならず支那人が專賣の一種特別の排惡手段を以て日本人逆殺を實行せんとするに倍を畫く可き强き進理さへあり紐育府內の支那人町に於ては處々方々に小きな赤紙の貼札あり桑港の支那人町にても既に已に是等の流儀の樣さ傳られて風に吹かるゝ其樣ひ靡花に似たりと云ふ當紐育（は同港より郵便を以て送り來れり札を貼り來れり札の表面に印刷したる文字を直譯すれば「DOWN WITH THE JAPANESE. DEATH TO THE DOGS!」（日本人、根滅す可し、殺す可し）と云ふに在り抑も支那人の頑迂癡なるの極は支那人町と人に爪はじきさるゝ醜態無雷の別天地を創立し此別天地の中には門片を掲するが爲めに來り又は世界中